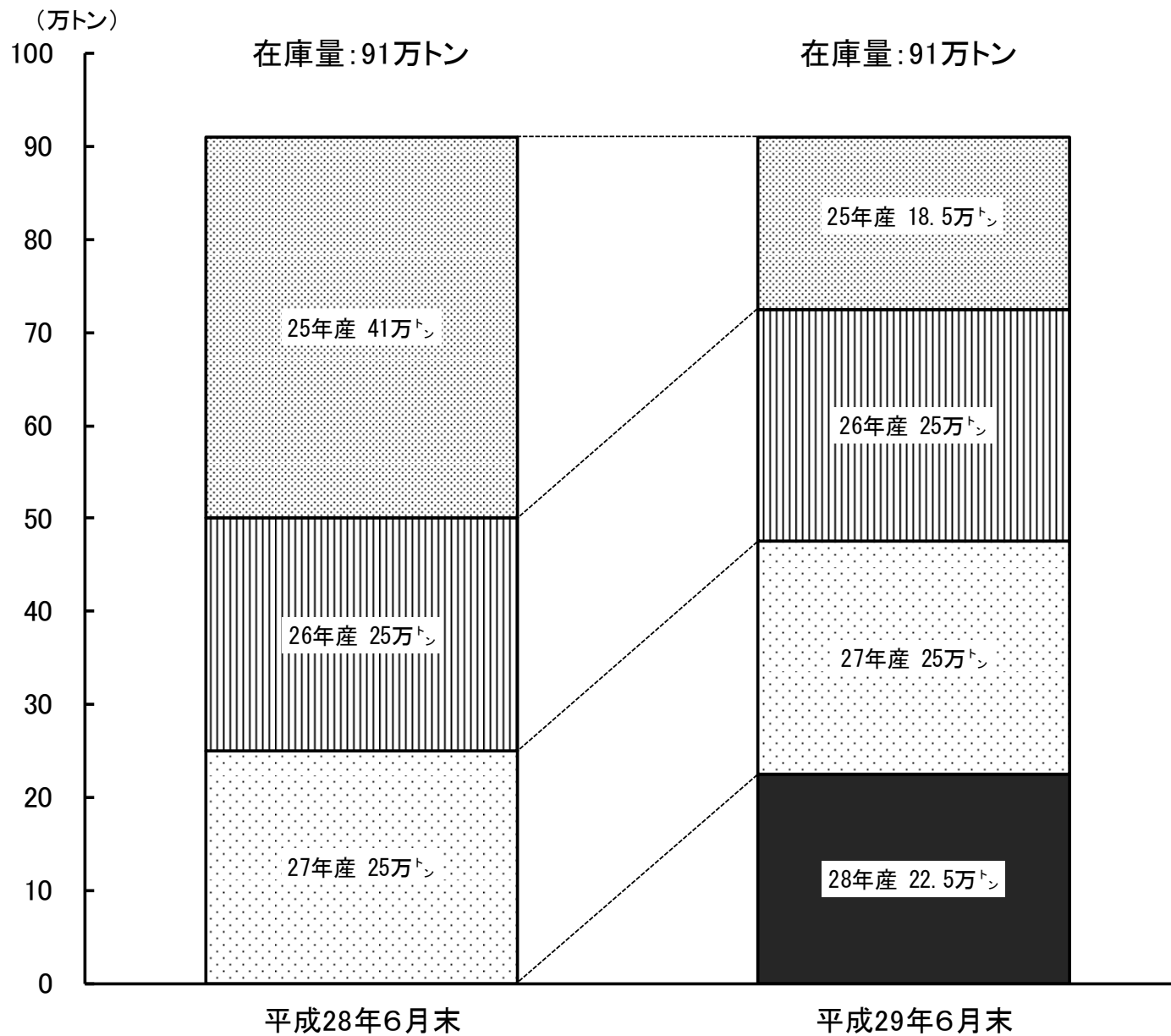
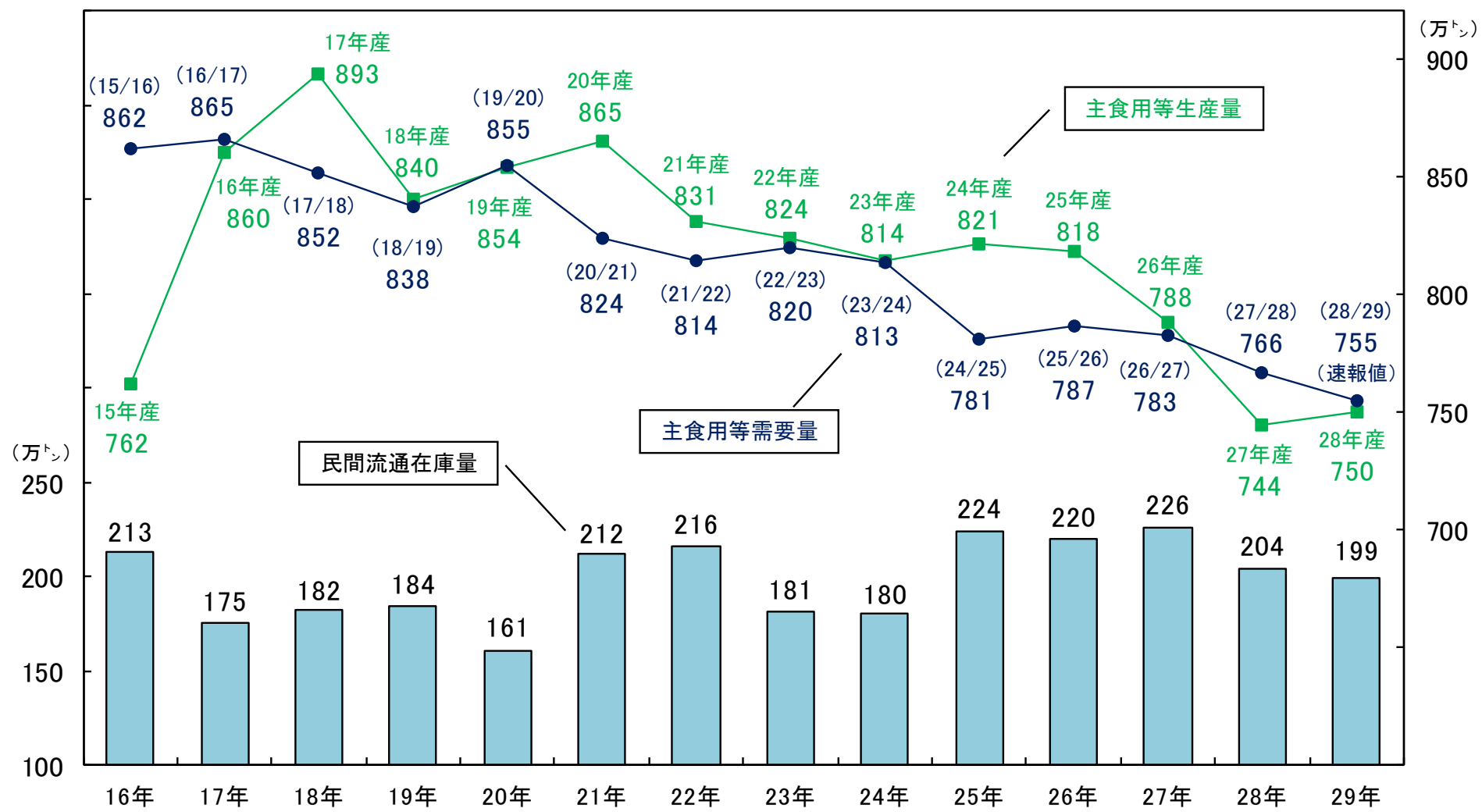


17 政府備蓄米の在庫の状況



18 主食用等の生産量と需要量及び民間在庫の推移



資料：農林水産省調べ

- 注：1) 主食用等需要量は前年7月から当年6月までの需要実績である。
- 2) 主食用等生産量（水稻収穫量－（加工用米＋新規需要米（飼料用・バイオ用を除く））＋備蓄米）は、前年産の数値である。
- 3) 民間流通在庫量は当年6月末現在の数値である。

19 29年産米の政府備蓄米の買入

単位:トン

買入対象米穀の産地		第1回 (1月31日)	第2回 (2月14日)	第3回 (2月28日)	第4回 (3月14日)	第5回 (3月28日)	第6回 (4月25日)	第7回 (5月30日)	第8回 (6月20日)	29年産 落札 合計数量
都道府県別優先枠	買入予定数量	落札数量	落札数量	落札数量	落札数量	落札数量	落札数量	落札数量	落札数量	
北海道	7,130	0	0	0						0
青森	12,271	10,360	1,911	0						12,271
岩手	5,229	5,229	0	0						5,229
宮城	6,368	306	6,062	0						6,368
秋田	17,039	17,039	0	0						17,039
山形	11,753	11,753	0	0						11,753
福島	16,443	16,443	0	0						16,443
茨城	600	600	0	0						600
栃木	5,167	3,558	1,609	0						5,167
群馬	12	12	0	0						12
埼玉	296	156	140	0						296
千葉	748	748	0	0						748
新潟	17,365	326	17,039	0						17,365
富山	7,947	7,947	0	0						7,947
石川	3,348	86	3,262	0						3,348
福井	2,187	20	2,167	0						2,187
長野	585	103	482	0						585
岐阜	348	10	338	0						348
静岡	20	0	0	20						20
愛知	493	0	0	493						493
三重	422	0	422	0						422
滋賀	876	21	855	0						876
兵庫	18	0	0	0						0
鳥取	535	10	525	0						535
島根	67	0	67	0						67
岡山	1,408	1,373	35	0						1,408
徳島	337	130	207	0						337
愛媛	51	0	51	0						51
高知	10	0	10	0						10
福岡	139	10	129	0						139
佐賀	327	0	0	327						327
長崎	18	0	18	0						18
熊本	247	247	0	0						247
大分	196	0	169	0						169
計	120,000	76,487	35,498	840						112,825
指定なし(一般枠)	80,000	71,032	8,968	3,477	160	219	427	214	406	84,903
合計	200,000	147,519	44,466	4,317	160	219	427	214	406	197,728

注) 都道府県別優先枠は、一部の産地では第2回入札まで、全ての産地でも第3回入札までとし、落札残については次回以降「指定なし(一般枠)」として提示している。

20 東日本大震災を踏まえての災害時に対応した備蓄の検討

精米備蓄事業【平成29年度予算額:27百万】

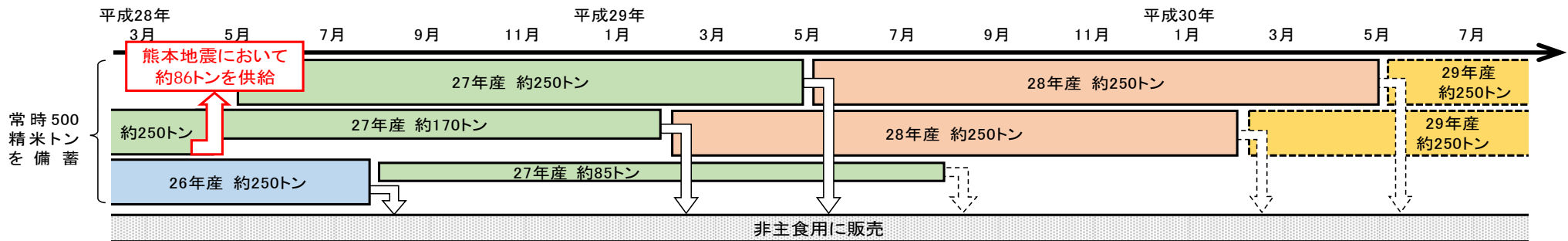
- 《背景》
- 東日本大震災発生後に、被災地から応急食料としての精米の供給要請
 - 大消費地である首都圏において一時的に米の品薄状態が発生
- 《課題》
- 大規模災害への備えとして、一定量の精米のストックが必要
 - 大規模災害発生直後に大都市圏で発生が想定される需要増加・精米供給能力の低下に対応する体制の確保が必要

《具体的な実施スキーム》

- 平成24年度から、政府が買い入れる備蓄米の一部を活用して精米(無洗米)形態での備蓄を実施。
 - 備蓄量：500トン(東日本大震災発生～4月20日までの被災地向け精米供給量に相当)
 - 実施主体：政府所有米穀の販売等業務の委託を受けた民間団体等
- 備蓄後一定期間を経過した精米については、非主食として販売。(大規模災害が発生した場合は、本来の目的どおりに被災地等に供給)

具体的なスケジュール(予定)

(備蓄用精米の切り替えの時期はイメージであり、今後変更となる可能性がある。)



食味等分析試験及び販売実証の結果概要

○ 食味等分析試験の結果概要

備蓄期間	理化学分析			食味評価	
	水分(%)	脂肪酸度(mg)	濁度(ppm)	基準米との比較による総合評価	主観による絶対評価
基準米	14.3	3.0	12.0	-	-
2ヶ月	14.6	3.2	11.4	-0.1	3.5
4ヶ月	14.3	4.8	14.5	-0.6	2.7
6ヶ月	14.1	5.7	14.6	-0.3	2.8
8ヶ月	14.2	5.8	14.3	-0.8	2.4
10ヶ月	14.5	7.9	15.9	-1.0	2.4
12ヶ月	14.5	8.6	11.8	-1.1	2.2
14ヶ月	14.3	8.0	17.1	-0.7	2.2

- 食味等分析試験(理化学分析及び食味評価)は、分析機関に委託(食味評価(官能試験)は20名のパネリストにより実施)。
 - 精米備蓄を実施した産地品種銘柄の平均(ただし、胚芽の残存が多く見られ、無洗米形態での備蓄可能期間を調べる本試験の試料に適さなかった産地品種銘柄を除く)。
 - 備蓄用精米(無洗米)は、温度15℃以下、湿度60～65%(目安)の低温倉庫で保管。
- (参考) 水分は、農産物規格規程における精米(完全精米・一等)の基準が15.0%以下とされている。
 脂肪酸度は、貯蔵期間の経過に伴い上昇することが知られている(特段の基準はなし)。
 無洗米の濁度は、28ppm以下が望ましいとされている(全国無洗米協会の濁度基準による)。
 基準米との比較による総合評価は、基準米を0として、±4の9段階で評価("1"は「わずかに不良」)。
 主観による絶対評価は、「5. 非常においしく食べられる」、「4. おいしく食べられる」、「3. 普通に食べられる」、「2. 少し劣るが食べられる」、「1. 受け入れられない」の5段階で評価。

⇒ 低温倉庫(15℃以下)で保管した場合、14ヶ月経過後の精米でも、食味は大幅には低下しない。

○ 販売(非主食用への販売)の概要

販売開始	備蓄期間	提示数量(t)	申込数量(t)	落札数量(t)	販売期間
25年3月	2ヶ月	102	1,900	102	1ヶ月
25年5月	4ヶ月	99	585	99	1ヶ月
25年7月	6ヶ月	102	345	102	1ヶ月
26年1月	8ヶ月	100	202	100	4ヶ月
	10ヶ月	101	203	101	4ヶ月
26年3月	12ヶ月	202	405	202	4ヶ月
	8ヶ月	100	350	100	2ヶ月
26年9月	8ヶ月	252	1,971	411	12ヶ月
27年2月	13ヶ月	159			7ヶ月
	11ヶ月	101	354	101	7ヶ月
27年5月	8ヶ月	258	1,129	258	4ヶ月
27年10月	8ヶ月	256	1,786	256	10ヶ月
28年2月	9ヶ月	256	1,470	256	5ヶ月
28年8月	10ヶ月	255	576	255	1ヶ月
29年3月	12ヶ月	170	951	170	1ヶ月
29年5月	12ヶ月	258	1,392	258	2ヶ月

⇒ 販売時期の需給・価格によって、応札意欲や応札価格が影響されている。

※水田活用の直接支払交付金の支援対象面積

作物別作付面積(二毛作※含む延べ面積)

対象作物	作付面積(万ha)
水稻作付面積	161.1
主食用米	138.1
加工用米	5.1
米粉用米	0.3
飼料用米	9.1
WCS用稲	4.1
備蓄米	4.0
輸出用米等	0.3
麦	17.3
大豆	12.0
飼料作物(飼料用米・WCS用稲を除く)	10.5
そば・なたね	3.8
その他(野菜、不作付地等)	39.4
田本地面積	229.6

注1:田本地面積、水稻作付面積、麦、大豆、そばは「耕地及び作付面積統計」

注2:主食用米は「作物統計」

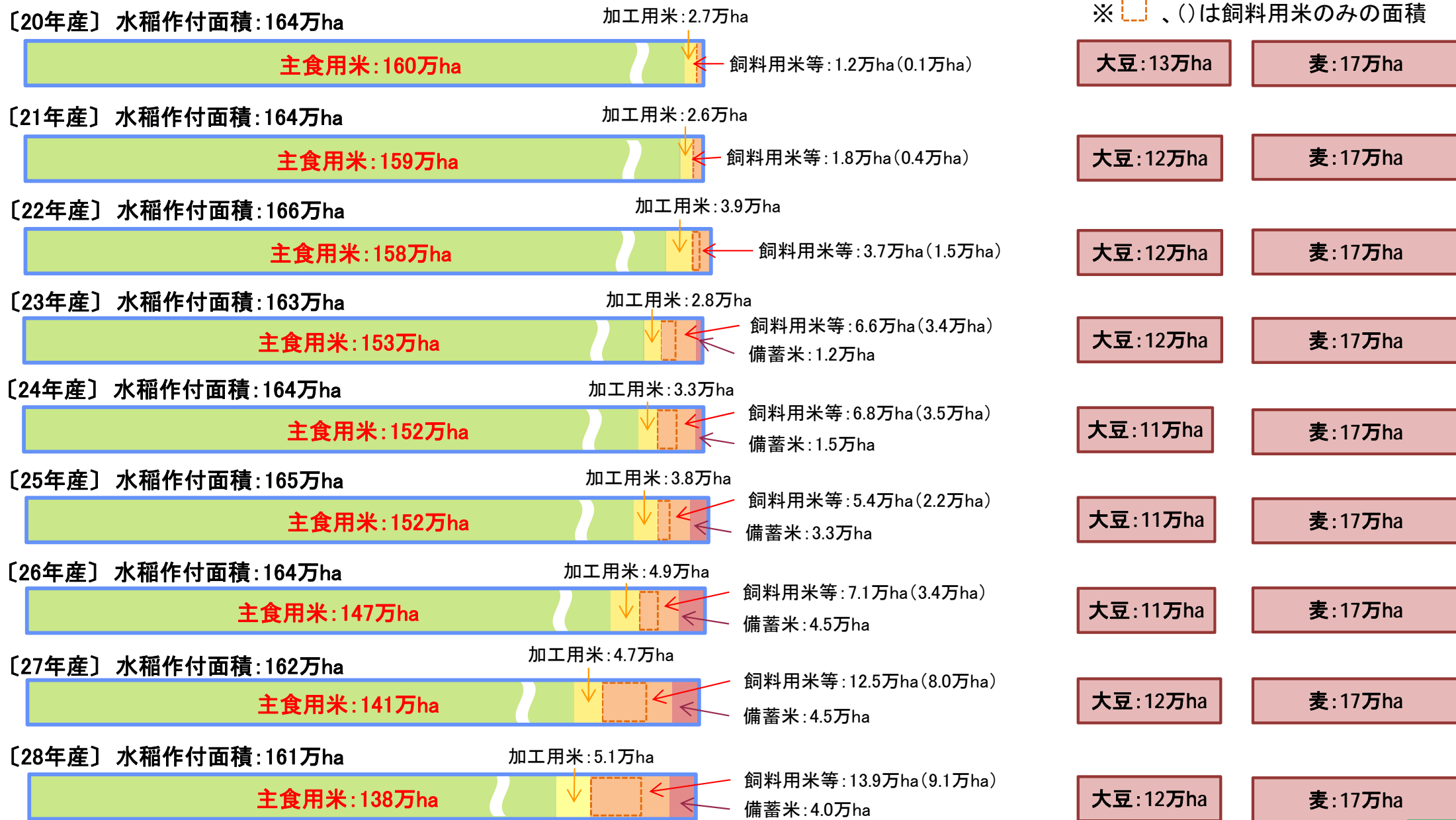
注3:加工用米、米粉用米、飼料用米、WCS用稲、備蓄用米、輸出用米等は「新規需要米の用途別取組状況」

注4:飼料作物、なたねは「水田活用の直接支払交付金支払い実績」

注5:ラウンドの関係で合計が一致しない場合がある

22 水田における土地利用の状況

○ 平成20年以降、主食用米の需要減少分は、飼料用米等の拡大で対応されている。こうした取組を進めることで、水田がフルに活用され、生産者等の主体的経営判断による需要に応じた米生産の推進が期待される。



※ 水稲、麦、大豆:「耕地面積統計」、主食用米:「作物統計」、加工用米、飼料用米等:「新規需要米の取組計画」、備蓄米:穀物課調べ

23 全国の需給調整の取組状況の推移(平成16年産～28年産)

年産	生産数量目標 ① 万トン	主食用米 生産量 ② 万トン	超過数量 ②－① 万トン	①を面積換算 したもの ③ 万ha	主食用米 作付面積 ④ 万ha	超過作付面積 ④－③ 万ha	作況 指数 ⑤
16	857	860	2	163.3	165.8	2.5	98
17	851	893	42	161.5	165.2	3.7	101
18	833	840	7	157.5	164.3	6.8	96
19	828	854	26	156.6	163.7	7.1	99
20	815	865	50	154.2	159.6	5.4	102
21	815	831	16	154.3	159.2	4.9	98
22	813	824	11	153.9	158.0	4.1	98
23	795	814	19	150.4	152.6	2.2	101
24	793	821	28	150.0	152.4	2.4	102
25	791	818	27	149.5	152.2	2.7	102
26	765	788	23	144.6	147.4	2.8	101
27	751	744	▲ 7	141.9	140.6	▲ 1.3	100
28	743	750	7	140.3	138.1	▲ 2.2	103

注1:②の主食用米生産量(23年産以前)は、統計部公表の水稲収穫量から加工用米等の出荷実績数量を控除した数値。

2:④の主食用米作付面積(23年産以前)は、統計部公表の水稲作付面積から加工用米等の作付面積を控除した数値。

3:②、④及び⑤の24年産以降の数値は、それぞれ統計部公表の12月の収穫量(主食用)、主食用作付面積及び作況指数。

4:ラウンドの関係で内訳が一致しない場合がある。

- 平成28年産については、主食用米から戦略作物等への転換が一層進み、多くの戦略作物で作付面積が増加した。
- この結果、28年産米の主食用米の作付面積は138.1万haとなり、生産数量目標140.3万haを2.2万ha下回り、27年産から2年連続で超過作付が解消された。

○主食用米及び戦略作物等の作付面積の動向

単位:万ha

	主食用米			戦略作物等				
	作付面積 ①	生産数量目標 ②	超過作付 ①—②	麦	飼料用米	大豆	WCS	その他
27年産	140.6	141.9	▲ 1.3	9.9	8.0	8.6	3.8	19.6
28年産	138.1	140.3	▲ 2.2	10.0	9.1	8.9	4.1	20.0
差 (28-27)	▲ 2.5	▲ 1.6	▲ 0.9	0.1	1.1	0.3	0.3	0.3

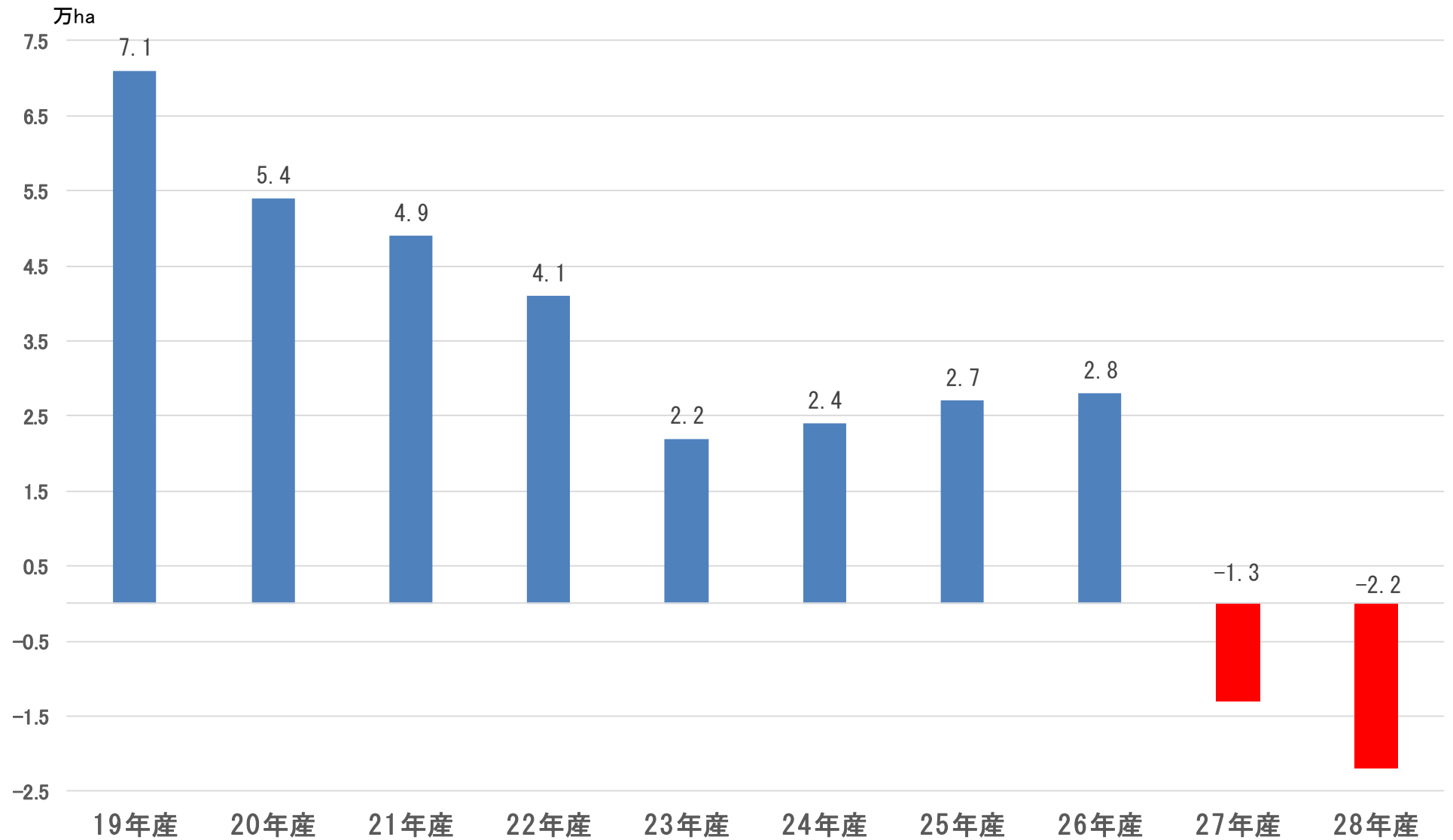
注1:ラウンドにより差が異なる場合がある。

注2:「その他」の内訳は、加工用米、米粉用米、輸出用米、酒造用米、備蓄米、飼料作物、そば・なたね等

注3:加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積

注4:米以外の戦略作物等(基幹作のみ)は、27年産は交付金支払実績面積で、28年産は地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積

25 28年産米の超過作付の動向



上段: 主食用米作付面積(万ha)
 下段: 生産数量目標(万ha)

163.7	159.6	159.2	158.0	152.6	152.4	152.2	147.4	140.6	138.1
156.6	154.2	154.3	153.9	150.4	150.0	149.5	144.6	141.9	140.3

26 都道府県別の超過作付の状況

○ 平成28年産の超過作付面積は▲2.2万haで、主食用米の作付面積が生産数量目標を下回ったものは36都道府県、自主的取組参考値まで下回ったものは31都道府県。

都道府県	27年産		28年産			
	主食用米作付面積 ha	超過作付 ha	生産数量 目標 ha	主食用米 作付面積 ha	28年産超過作付の 状況(ha)	
					対生産数量 目標	対自主的 取組参考値
北海道	100,100	▲ 1,700	100,434	99,000	▲ 1,434	▲ 352
青森県	37,300	▲ 4,300	41,079	36,800	▲ 4,279	▲ 3,837
岩手県	48,100	▲ 2,800	50,345	47,100	▲ 3,245	▲ 2,703
宮城県	63,700	▲ 2,000	65,042	63,600	▲ 1,442	▲ 741
秋田県	71,200	▲ 1,700	72,152	69,300	▲ 2,852	▲ 2,076
山形県	57,700	▲ 300	57,275	56,800	▲ 475	141
福島県	61,500	▲ 100	60,122	60,100	▲ 22	645
茨城県	68,400	3,800	63,698	67,200	3,502	4,188
栃木県	54,100	▲ 1,200	54,724	53,600	▲ 1,124	▲ 534
群馬県	14,400	▲ 900	15,164	14,100	▲ 1,064	▲ 900
埼玉県	31,700	800	30,589	31,200	611	940
千葉県	55,200	9,100	45,582	53,900	8,318	8,809
東京都	156	▲ 34	185	151	▲ 34	▲ 32
神奈川県	3,130	210	2,890	3,110	220	251
新潟県	102,400	4,600	97,076	101,500	4,424	5,452
富山県	34,200	▲ 400	34,205	33,800	▲ 405	▲ 37
石川県	23,600	▲ 300	23,566	23,200	▲ 366	▲ 112
福井県	23,900	▲ 300	23,914	23,600	▲ 314	▲ 56
山梨県	4,980	▲ 30	4,959	4,940	▲ 19	34
長野県	32,200	1,000	30,899	31,700	801	1,134
岐阜県	22,100	▲ 700	22,560	21,700	▲ 860	▲ 617
静岡県	16,100	200	15,746	15,800	54	224
愛知県	27,200	700	26,335	26,900	565	849
三重県	27,700	▲ 1,000	28,396	27,000	▲ 1,396	▲ 1,091

都道府県	27年産		28年産			
	主食用米作付面積 ha	超過作付 ha	生産数量 目標 ha	主食用米 作付面積 ha	28年産超過作付の 状況(ha)	
					対生産数量 目標	対自主的 取組参考値
滋賀県	30,600	▲ 400	30,645	30,200	▲ 445	▲ 115
京都府	14,400	▲ 500	14,715	14,300	▲ 415	▲ 256
大阪府	5,440	140	5,246	5,310	64	121
兵庫県	35,700	▲ 100	35,440	35,400	▲ 40	341
奈良県	8,850	720	8,046	8,680	634	720
和歌山県	6,900	▲ 150	6,972	6,720	▲ 252	▲ 178
鳥取県	12,400	▲ 500	12,732	12,500	▲ 232	▲ 95
島根県	17,500	▲ 200	17,486	17,300	▲ 186	2
岡山県	29,600	▲ 500	29,821	29,200	▲ 621	▲ 300
広島県	24,000	▲ 800	24,585	23,400	▲ 1,185	▲ 920
山口県	20,500	▲ 1,000	21,065	19,800	▲ 1,265	▲ 1,036
徳島県	11,700	▲ 700	12,219	11,500	▲ 719	▲ 587
香川県	13,500	▲ 600	13,932	13,200	▲ 732	▲ 582
愛媛県	14,600	▲ 200	14,685	14,200	▲ 485	▲ 327
高知県	11,900	1,000	10,769	11,600	831	947
福岡県	35,900	▲ 700	36,178	35,400	▲ 778	▲ 388
佐賀県	25,000	▲ 1,500	26,389	24,600	▲ 1,789	▲ 1,505
長崎県	12,500	▲ 700	12,981	12,000	▲ 981	▲ 842
熊本県	34,300	▲ 2,500	36,348	32,500	▲ 3,848	▲ 3,456
大分県	21,700	▲ 1,700	23,148	21,100	▲ 2,048	▲ 1,799
宮崎県	16,100	▲ 2,700	18,632	15,500	▲ 3,132	▲ 2,932
鹿児島県	20,900	▲ 2,100	22,751	20,200	▲ 2,551	▲ 2,306
沖縄県	788	▲ 142	916	785	▲ 131	▲ 121
合計	140.6万	▲ 1.3万	140.3万	138.1万	▲ 2.2万	▲ 0.7万

27 平成28年産米の都道府県別需給調整の取組状況

【28年産】

都道府県名	生産数量 目標	自主的取組 参考値	主食用米 生産量	超過数量	①を面積換算 したもの	②を面積換算 したもの	主食用米 作付面積	超過作付 面積 (対生産数量目標)	超過作付 面積 (対自主的取組参考 値)	作況 指数
	①	②	③	③-①	④	⑤	⑥	⑥-④	⑥-⑤	⑦
	トン	トン	トン	トン	ha	ha	ha	ha	ha	
全国	743.0万	735.0万	749.6万	6.6万	140.3万	138.8万	138.1万	▲ 2.2万	▲ 0.7万	103
北海道	541,500	535,669	545,500	4,000	100,434	99,352	99,000	▲ 1,434	▲ 352	102
青森	239,877	237,294	222,300	▲ 17,577	41,079	40,637	36,800	▲ 4,279	▲ 3,837	104
岩手	268,321	265,432	254,300	▲ 14,021	50,345	49,803	47,100	▲ 3,245	▲ 2,703	102
宮城	344,906	341,193	352,300	7,394	65,042	64,341	63,600	▲ 1,442	▲ 741	105
秋田	413,092	408,644	409,600	▲ 3,492	72,152	71,376	69,300	▲ 2,852	▲ 2,076	104
山形	340,828	337,158	345,300	4,472	57,275	56,659	56,800	▲ 475	141	103
福島	330,386	326,769	333,600	3,214	60,122	59,455	60,100	▲ 22	645	102
茨城	333,776	330,182	350,100	16,324	63,698	63,012	67,200	3,502	4,188	99
栃木	295,508	292,326	295,300	▲ 208	54,724	54,134	53,600	▲ 1,124	▲ 534	102
群馬	74,864	74,058	71,200	▲ 3,664	15,164	15,000	14,100	▲ 1,064	▲ 900	102
埼玉	149,659	148,047	154,100	4,441	30,589	30,260	31,200	611	940	101
千葉	243,864	241,239	295,900	52,036	45,582	45,091	53,900	8,318	8,809	102
東京	762	754	627	▲ 135	185	183	151	▲ 34	▲ 32	101
神奈川	14,247	14,093	15,400	1,153	2,890	2,859	3,110	220	251	101
新潟	522,717	517,164	589,700	66,983	97,076	96,048	101,500	4,424	5,452	108
富山	183,682	181,705	191,300	7,618	34,205	33,837	33,800	▲ 405	▲ 37	106
石川	122,313	120,996	123,900	1,587	23,566	23,312	23,200	▲ 366	▲ 112	104
福井	124,114	122,777	126,300	2,186	23,914	23,656	23,600	▲ 314	▲ 56	104
山梨	27,138	26,846	27,000	▲ 138	4,959	4,906	4,940	▲ 19	34	101
長野	191,933	189,867	197,800	5,867	30,899	30,566	31,700	801	1,134	101
岐阜	110,085	108,899	105,500	▲ 4,585	22,560	22,317	21,700	▲ 860	▲ 617	100
静岡	82,037	81,153	83,000	963	15,746	15,576	15,800	54	224	101
愛知	133,532	132,094	140,100	6,568	26,335	26,051	26,900	565	849	103
三重	141,981	140,453	140,900	▲ 1,081	28,396	28,091	27,000	▲ 1,396	▲ 1,091	105

都道府県名	生産数量 目標	自主的取組 参考値	主食用米 生産量	超過数量	①を面積換算 したもの	②を面積換算 したもの	主食用米 作付面積	超過作付 面積 (対生産数量目標)	超過作付 面積 (対自主的取組参考 値)	作況 指数
	①	②	③	③-①	④	⑤	⑥	⑥-④	⑥-⑤	⑦
	トン	トン	トン	トン	ha	ha	ha	ha	ha	
滋賀	158,741	157,032	161,300	2,559	30,645	30,315	30,200	▲ 445	▲ 115	104
京都	75,121	74,312	73,800	▲ 1,321	14,715	14,556	14,300	▲ 415	▲ 256	101
大阪	25,941	25,661	26,800	859	5,246	5,189	5,310	64	121	102
兵庫	178,518	176,596	177,400	▲ 1,118	35,440	35,059	35,400	▲ 40	341	100
奈良	41,246	40,802	45,600	4,354	8,046	7,960	8,680	634	720	102
和歌山	34,479	34,108	34,100	▲ 379	6,972	6,898	6,720	▲ 252	▲ 178	102
鳥取	65,406	64,702	65,300	▲ 106	12,732	12,595	12,500	▲ 232	▲ 95	102
島根	89,041	88,083	91,300	2,259	17,486	17,298	17,300	▲ 186	2	104
岡山	156,861	155,172	155,600	▲ 1,261	29,821	29,500	29,200	▲ 621	▲ 300	101
広島	128,585	127,201	124,300	▲ 4,285	24,585	24,320	23,400	▲ 1,185	▲ 920	102
山口	106,171	105,013	101,400	▲ 4,771	21,065	20,836	19,800	▲ 1,265	▲ 1,036	102
徳島	57,916	57,293	56,400	▲ 1,516	12,219	12,087	11,500	▲ 719	▲ 587	104
香川	69,492	68,744	67,100	▲ 2,392	13,932	13,782	13,200	▲ 732	▲ 582	102
愛媛	73,133	72,345	72,100	▲ 1,033	14,685	14,527	14,200	▲ 485	▲ 327	102
高知	49,537	49,003	53,100	3,563	10,769	10,653	11,600	831	947	100
福岡	180,526	178,582	177,400	▲ 3,126	36,178	35,788	35,400	▲ 778	▲ 388	100
佐賀	136,945	135,471	128,200	▲ 8,745	26,389	26,105	24,600	▲ 1,789	▲ 1,505	100
長崎	62,180	61,511	59,500	▲ 2,680	12,981	12,842	12,000	▲ 981	▲ 842	104
熊本	187,293	185,277	171,300	▲ 15,993	36,348	35,956	32,500	▲ 3,848	▲ 3,456	102
大分	116,436	115,183	106,300	▲ 10,136	23,148	22,899	21,100	▲ 2,048	▲ 1,799	100
宮崎	92,603	91,606	77,200	▲ 15,403	18,632	18,432	15,500	▲ 3,132	▲ 2,932	100
鹿児島	109,887	108,704	97,600	▲ 12,287	22,751	22,506	20,200	▲ 2,551	▲ 2,306	100
沖縄	2,830	2,799	2,270	▲ 560	916	906	785	▲ 131	▲ 121	94

注1: ①及び④は県間調整及び県内調整後の数値。
 2: ②及び⑤は、当初提示した数量及び面積から、県間調整や県内調整で補正した生産数量目標と同数を補正した数値。
 3: ③、⑥及び⑦は、それぞれ平成28年12月2日統計部公表の収穫量(主食用)、主食用作付面積及び作況指数。
 4: ラウンドの関係で内訳と合計が一致しない場合がある。

- 都道府県ごとの平成29年4月末現在の主食用米の生産数量目標等の達成見込みは、達成に向けて更なる取組が必要な県が11県。
- また、飼料用米等の作付意向は、平成28年産に比べ、飼料用米で31県、WCS（稲発酵粗飼料）で23県、麦で15県、大豆で19県が増加傾向。
- 主食用米の産地銘柄ごとの価格動向はそれぞれの在庫量や作付状況等により様々。今回の公表結果も参考に、各産地において需要に応じた生産がより一層進められることが期待される。
- なお、5月には県段階に加え、地域再生協議会ごとの作付動向（4月末時点）も公表した。

平成29年産主食用米の生産数量目標等の達成見込み
（4月末時点）

主食用米の状況	
自主的取組参考値までの 深掘が見込まれる	33県
生産数量目標の達成が 見込まれる	3県
生産数量目標の達成に向けて 更なる取組が必要	11県

平成29年産飼料用米等の中間的な取組状況
（4月末時点）

	飼料用米	WCS 〔稲発酵粗飼料〕	麦 〔二毛作を含む〕	大豆 〔二毛作を含む〕
前年より増加傾向	31県	23県	15県	19県
前年並み傾向	5県	15県	19県	14県
前年より減少傾向	9県	5県	12県	12県

注：1 いずれも、地方農政局等による、都道府県農業再生協議会等からの聞き取り。
2 「平成29年産飼料用米等の中間的な取組状況」は、28・29年産で作付がない県は含まない。

28 平成29年産飼料用米、麦、大豆等の作付動向（第2回中間的取組状況、5月26日公表）②

平成29年産米等の第2回中間的取組状況（平成29年4月末現在）

単位：ha

都道府県	生産数量目標等の達成見込み (注1)	飼料用米		WCS		麦		大豆	
		28年産	29年産	28年産	29年産	28年産	29年産	28年産	29年産
北海道	◎	2,770		461		33,392		18,411	
青森県	◎	7,414		714		881		4,418	
岩手県	◎	4,703		1,608		3,515		3,699	
宮城県	◎	5,915		2,086		2,207		10,809	
秋田県	◎	3,152		1,259		332		7,813	
山形県	○	3,842		849		104		4,925	
福島県	×	5,513		1,068		182		920	
茨城県	×	7,840		607		4,908		2,605	
栃木県	◎	10,402		1,711		11,168		2,459	
群馬県	◎	1,844		590		6,548		111	
埼玉県	×	2,857		144		4,721		382	
千葉県	×	4,761		1,097		537		545	
東京都	◎	-	-	-	-	0		-	-
神奈川県	×	16		-	-	4		7	
新潟県	×	4,058		363		244		4,748	
富山県	◎	814		381		3,477		4,777	
石川県	◎	692		94		1,042		1,203	
福井県	◎	1,125		122		5,386		1,687	
山梨県	◎	17		9		46		114	
長野県	×	348		250		2,427		1,502	
岐阜県	◎	2,900		217		3,429		2,995	
静岡県	×	1,014		405		729		160	
愛知県	×	1,782		210		5,530		4,173	
三重県	◎	1,785		242		6,615		4,398	

都道府県	生産数量目標等の達成見込み (注1)	飼料用米		WCS		麦		大豆	
		28年産	29年産	28年産	29年産	28年産	29年産	28年産	29年産
滋賀県	◎	836		261		7,721		6,542	
京都府	◎	134		108		248		196	
大阪府	○	6		-	-	1		5	
兵庫県	○	271		706		2,384		2,044	
奈良県	×	68		50		107		51	
和歌山県	◎	3		2		1		18	
鳥取県	◎	1,107		343		125		697	
島根県	◎	1,148		526		594		748	
岡山県	◎	1,529		424		2,693		1,353	
広島県	◎	534		523		226		369	
山口県	◎	790		296		1,734		845	
徳島県	◎	853		208		123		34	
香川県	◎	340		81		2,436		76	
愛媛県	◎	347		147		1,867		314	
高知県	×	970		200		7		73	
福岡県	◎	1,862		1,433		21,515		8,356	
佐賀県	◎	448		1,130		20,526		8,197	
長崎県	◎	182		1,022		1,180		349	
熊本県	◎	1,324		7,260		6,437		2,385	
大分県	◎	1,480		2,429		4,721		1,578	
宮崎県	◎	494		6,307		111		218	
鹿児島県	◎	852		3,399		105		281	
沖縄県	◎	-	-	-	-	-	-	-	-

注：1 生産数量目標等の達成見込みは、「◎：自主的取組参考値までの深掘が見込まれる」、「○：生産数量目標の達成が見込まれる」、「×：生産数量目標の達成に向けて更なる取組が必要」で分類。

注：2 飼料用米等の29年産は、28年産実績と比較し、「↗：増加傾向」、「→：前年並み傾向」、「↘：減少傾向」で分類。
なお、「麦」「大豆」は二毛作面積を含む。

28 平成29年産飼料用米、麦、大豆等の作付動向（第2回中間的取組状況、5月26日公表）③-1

地域農業再生協議会別の作付動向（平成29年4月末現在）

単位：協議会数

	生産数量目標等の達成見込み ※1	主食用米 ※2		飼料用米 ※3			WCS ※3			麦 ※3			大豆 ※3		
		生産数量目標の達成が見込まれる	生産数量目標の達成に向けて更なる取組が必要	増加傾向	前年並み傾向	減少傾向	増加傾向	前年並み傾向	減少傾向	増加傾向	前年並み傾向	減少傾向	増加傾向	前年並み傾向	減少傾向
北海道	◎	105	8	21	14	36	10	6	6	30	23	35	34	22	26
青森	◎	40	0	7	11	19	5	11	6	12	4	4	15	8	9
岩手	◎	30	0	9	9	8	7	11	5	6	15	3	8	11	9
宮城	◎	35	0	18	3	8	12	6	8	9	3	6	10	10	12
秋田	◎	23	2	12	5	5	5	6	5	3	1	3	10	6	8
山形	○	33	2	17	8	10	8	11	8	4	7	1	16	14	4
福島	×	34	14	22	8	13	16	12	7	7	10	4	12	17	7
茨城	×	21	23	33	5	6	9	6	7	13	5	16	12	12	15
栃木	◎	19	6	17	2	6	7	3	13	10	5	9	6	2	17
群馬	◎	25	7	7	5	9	4	7	4	19	1	5	14	3	4
埼玉	×	43	17	4	30	10	2	5	2	5	27	7	5	24	1
千葉	×	28	24	25	21	2	16	11	3	9	8	5	13	15	0
東京	◎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
神奈川	×	6	21	0	3	0	0	0	0	1	4	1	0	9	0
新潟	×	13	22	16	7	9	8	6	5	10	4	5	23	4	7
富山	◎	12	0	11	0	1	5	0	2	3	1	7	4	3	5
石川	◎	17	0	3	10	2	1	2	1	11	0	2	2	14	0
福井	◎	17	0	8	5	4	1	4	2	4	4	8	7	7	2
山梨	◎	23	1	4	3	4	1	0	0	3	3	6	5	7	6
長野	×	52	6	9	11	10	8	8	4	8	20	9	13	23	13
岐阜	◎	31	7	0	34	0	0	12	0	11	4	9	0	33	0
静岡	×	12	22	9	9	1	4	3	1	2	3	9	6	2	10
愛知	×	22	16	16	8	7	3	5	2	10	9	4	5	15	4
三重	◎	26	4	19	6	0	0	12	0	4	20	0	4	13	0

※1 生産数量目標等の達成見込みは、「◎：自主的取組参考値までの深掘が見込まれる」、「○：生産数量目標の達成が見込まれる」、「×：生産数量目標の達成に向けて更なる取組が必要」で分類。

※2 平成29年産米の生産数量目標が配分されている地域農業再生協議会が対象。

※3 平成28年産または29年産で作付けがある地域農業再生協議会が対象で、麦・大豆は二毛作を含む。

28 平成29年産飼料用米、麦、大豆等の作付動向（第2回中間的取組状況、5月26日公表）③-2

地域農業再生協議会別の作付動向(平成29年4月末現在)

単位:協議会数

	生産数量目標等の達成見込み ※1	主食用米 ※2		飼料用米 ※3			WCS ※3			麦 ※3			大豆 ※3		
		生産数量目標の達成が見込まれる	生産数量目標の達成に向けて更なる取組が必要	増加傾向	前年並み傾向	減少傾向	増加傾向	前年並み傾向	減少傾向	増加傾向	前年並み傾向	減少傾向	増加傾向	前年並み傾向	減少傾向
滋賀	◎	19	0	9	7	1	2	8	0	6	3	10	2	10	7
京都	◎	26	1	4	7	0	3	3	1	1	7	1	8	8	1
大阪	○	40	3	0	4	0	0	0	0	0	2	0	0	8	0
兵庫	○	36	5	12	9	5	9	15	2	12	3	12	12	13	10
奈良	×	27	10	10	10	1	1	4	1	4	1	5	6	5	8
和歌山	◎	29	1	3	2	0	2	2	1	0	2	0	0	9	0
鳥取	◎	19	0	8	1	8	8	2	3	7	0	7	8	1	9
島根	◎	18	0	5	1	6	6	2	10	4	3	8	4	4	9
岡山	◎	22	5	12	10	3	3	12	5	4	18	0	6	18	3
広島	◎	23	0	9	0	4	4	1	6	7	2	3	9	6	1
山口	◎	11	0	5	1	4	6	2	2	8	0	2	3	2	6
徳島	◎	19	6	2	9	10	1	8	0	1	8	0	0	9	1
香川	◎	14	2	2	2	7	6	2	1	11	2	0	5	1	7
愛媛	◎	20	0	10	2	4	3	1	4	10	3	1	11	0	4
高知	×	7	19	7	9	4	6	5	4	3	0	4	6	0	2
福岡	◎	65	0	29	9	7	17	8	9	19	13	21	24	11	14
佐賀	◎	25	0	15	1	3	15	1	2	4	2	16	16	4	2
長崎	◎	21	0	2	6	2	1	11	4	0	13	0	0	12	0
熊本	◎	47	0	12	17	4	19	19	5	10	14	10	11	12	12
大分	◎	16	0	10	3	1	8	3	2	3	2	9	6	5	4
宮崎	◎	18	0	9	1	6	17	0	0	4	1	11	6	4	6
鹿児島	◎	37	0	11	6	8	26	5	1	7	5	4	5	2	7
沖縄	◎	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		1,240	254	473	334	258	295	261	154	319	286	282	372	418	272

※1 生産数量目標等の達成見込みは、「◎：自主的取組参考値までの深掘が見込まれる」、「○：生産数量目標の達成が見込まれる」、「×：生産数量目標の達成に向けて更なる取組が必要」で分類。

※2 平成29年産米の生産数量目標が配分されている地域農業再生協議会が対象。

※3 平成28年産または29年産で作付けがある地域農業再生協議会が対象で、麦・大豆は二毛作を含む。

29 平成29年産米の都道府県別の生産数量目標等

都道府県	27年産生産数量目標 のシェア(注1)	29年産生産数量目標		29年産自主的取組参考値	
			面積換算値		面積換算値
全国計	100%	735万トン	139万ha	733万トン	138万ha
北海道	547,330 / 7,510,000	535,669	99,015	534,212	98,745
青森	242,460 / 7,510,000	237,294	40,494	236,649	40,384
岩手	271,210 / 7,510,000	265,432	49,706	264,710	49,571
宮城	348,620 / 7,510,000	341,193	64,255	340,264	64,080
秋田	417,540 / 7,510,000	408,644	71,317	407,532	71,123
山形	344,500 / 7,510,000	337,160	56,666	336,243	56,511
福島	339,550 / 7,510,000	332,316	61,313	331,412	61,146
茨城	337,370 / 7,510,000	330,182	63,012	329,284	62,840
栃木	298,690 / 7,510,000	292,326	54,134	291,531	53,987
群馬	75,670 / 7,510,000	74,058	14,961	73,856	14,920
埼玉	151,270 / 7,510,000	148,047	30,214	147,644	30,131
千葉	246,490 / 7,510,000	241,239	45,091	240,582	44,969
東京	770 / 7,510,000	754	183	752	183
神奈川	14,400 / 7,510,000	14,093	2,859	14,055	2,851
新潟	521,290 / 7,510,000	510,184	94,304	508,796	94,047
富山	185,650 / 7,510,000	181,695	33,710	181,200	33,618
石川	123,630 / 7,510,000	120,996	23,313	120,667	23,250
福井	125,460 / 7,510,000	122,787	23,658	122,453	23,594
山梨	27,430 / 7,510,000	26,846	4,908	26,773	4,895
長野	194,000 / 7,510,000	189,867	30,574	189,350	30,491
岐阜	111,270 / 7,510,000	108,899	22,315	108,603	22,255
静岡	82,920 / 7,510,000	81,153	15,576	80,933	15,534
愛知	134,970 / 7,510,000	132,094	26,054	131,735	25,983
三重	143,510 / 7,510,000	140,453	28,091	140,070	28,014

注1：米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（平成27年11月）において、平成27年産米の都道府県別のシェアを固定し、当該シェアで按分して平成29年産米の都道府県別の生産数量目標及び自主的取組参考値とする旨を公表済み。

注2：端数処理の結果、合計値は一致しない。

都道府県	27年産生産数量目標 のシェア(注1)	29年産生産数量目標		29年産自主的取組参考値	
			面積換算値		面積換算値
滋賀	160,450 / 7,510,000	157,032	30,315	156,604	30,232
京都	75,930 / 7,510,000	74,312	14,542	74,110	14,503
大阪	26,220 / 7,510,000	25,661	5,184	25,592	5,170
兵庫	180,440 / 7,510,000	176,596	35,178	176,115	35,083
奈良	41,690 / 7,510,000	40,802	7,954	40,691	7,932
和歌山	34,850 / 7,510,000	34,108	6,891	34,015	6,872
鳥取	66,110 / 7,510,000	64,702	12,588	64,525	12,554
島根	90,000 / 7,510,000	88,083	17,305	87,843	17,258
岡山	158,550 / 7,510,000	155,172	29,500	154,750	29,420
広島	129,970 / 7,510,000	127,201	24,321	126,855	24,255
山口	108,760 / 7,510,000	106,443	21,120	106,153	21,062
徳島	58,540 / 7,510,000	57,293	12,087	57,137	12,054
香川	70,240 / 7,510,000	68,744	13,776	68,556	13,739
愛媛	73,920 / 7,510,000	72,345	14,527	72,148	14,488
高知	50,070 / 7,510,000	49,003	10,699	48,870	10,670
福岡	182,470 / 7,510,000	178,582	35,932	178,097	35,834
佐賀	138,420 / 7,510,000	135,471	26,102	135,102	26,031
長崎	62,850 / 7,510,000	61,511	12,842	61,344	12,807
熊本	189,310 / 7,510,000	185,277	36,116	184,773	36,018
大分	117,690 / 7,510,000	115,183	22,945	114,869	22,882
宮崎	93,600 / 7,510,000	91,606	18,469	91,357	18,419
鹿児島	111,070 / 7,510,000	108,704	22,553	108,408	22,491
沖縄	2,860 / 7,510,000	2,799	906	2,791	903

30 生産数量目標の都道府県間調整の推移

- 米の生産数量目標については、県間で生産数量目標を調整しあう都道府県間調整が行われている。
(受け手県は生産数量目標が増加し、出し手県は減少)
- 特に、23年産米については、東日本大震災の影響から、被災県とその他の都道府県との間で多くの調整が行われたところ。なお、震災を要因とする県間調整については、今後の生産数量目標の増加・削減要因としないことを前提として実施されている。

(単位:トン)

年産	調整数量 (面積換算値)	出し手県		受け手県	
		県名	数量	県名	数量
20年産	7,590 (1,400ha)	佐賀県	7,590	新潟県	3,510
				福島県	1,480
				青森県	911
				茨城県	620
				石川県	569
				宮城県	450
				山梨県	50
21年産	9,520 (1,800ha)	佐賀県 大分県 宮城県	8,580 690 250	新潟県	5,040
				石川県	1,673
				長野県	1,579
				山形県	931
				山梨県	297
22年産	2,670 (500ha)	佐賀県 岐阜県	2,655 15	新潟県	2,655
				愛知県	15

(単位:トン)

年産	調整数量 (面積換算値)	出し手県			受け手県		
		県名	数量	うち震災関連	県名	数量	うち震災関連
23年産	34,272 (6,400ha)	福島県	23,582	23,582	新潟県	14,054	12,884
		宮城県	9,512	9,512	秋田県	9,138	9,138
		佐賀県	1,100	-	青森県	3,380	3,380
		山形県	70	-	山形県	2,492	2,492
		青森県	8	-	石川県	1,665	1,665
					北海道	1,500	1,500
					長野県	907	907
					富山県	603	603
					兵庫県	200	200
					山梨県	100	100
					福井県	100	100
					千葉県	62	62
					三重県	30	30
					埼玉県	20	20
					京都府	8	8
					東京都	8	-
					栃木県	5	5
			奈良県	1	1		
			島根県	0	0		

(単位:トン)

年産	調整数量 (面積換算値)	出し手県			受け手県		
		県名	数量	うち震災関連	県名	数量	うち震災関連
24年産	7,601 (1,400ha)	宮城県	4,415	4,415	新潟県	6,413	6,341
		福島県	3,114	3,114	秋田県	1,034	1,034
		山形県	72	-	山形県	144	144
		富山県	1	-	福井県	10	10
					石川県	1	-
25年産	8,115 (1,600ha)	福島県	4,822	4,822	新潟県	6,758	5,714
		宮城県	2,237	2,237	秋田県	794	794
		山口県	990	-	石川県	448	448
		山形県	53	-	千葉県	53	53
		東京都	8	-	山形県	50	50
		石川県	4	-	青森県	8	-
					富山県	4	-
26年産	5,381 (1,100ha)	福島県	5,248	5,248	新潟県	4,153	4,020
		山口県	82	-	秋田県	895	895
		山形県	51	-	長野県	300	300
27年産	5,962 (1,200ha)	福島県	5,092	5,092	新潟県	5,530	4,960
		山口県	484	-	石川県	300	-
		宮城県	350	-	山形県	132	132
		山形県	36	-			
28年産	7,025 (1,300ha)	福島県	5,547	5,547	新潟県	6,980	5,513
		山口県	1,431	-	山形県	35	35
		山形県	37	-	富山県	10	-
		福井県	10	-			

注1: 県間調整については、国が仲介して行った県間調整のほか、方針作成者間調整のうち県をまたいで調整したものも含む。
 注2: ()の面積換算値は、出し手県の平均収量で換算した面積(100ha単位)。
 注3: ラウンドの関係で出し手県の数量と受け手県の数量は一致しない。